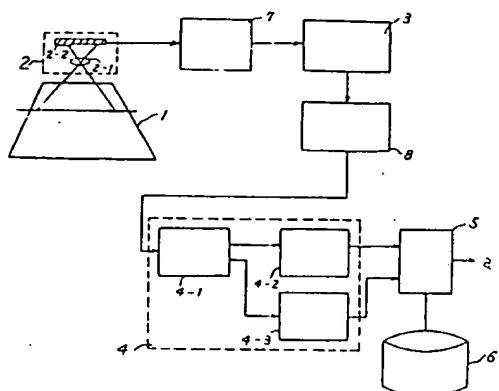


(54) CHARACTER RECOGNIZING SYSTEM
 (11) 62-194590 (A) (43) 27.8.1987 (19) JP
 (21) Appl. No. 61-36633 (22) 21.2.1986
 (71) FUJITSU LTD (72) MICHIAKI NAKANISHI
 (51) Int. Cl. G06K9/46

PURPOSE: To extract stably feature points of even short line elements by taking integratedly a segment, which has a length longer than a threshold and is regarded as one line, into consideration and discriminating a segment, which has a length shorter than the threshold, as a dot or noise to reflect a dot pattern faithfully.

CONSTITUTION: A scanning part 4-1 not only scans a binarization pattern in vertical, horizontal, and oblique directions to obtain a continuous boundary segment from white to black or from black to white but also discriminates whether the length of this segment is longer than the threshold or not, and the segment is sent to an integrating processing part 4-2 if it is longer than the threshold, but otherwise, the segment is sent to a short line element extracting part 4-3. The integrating processing part 4-2 performs the integrating processing of received segments to integrate segments which can be integrated, but segments which cannot be integrated are outputted as they are. The short line element extracting part 4-3 extracts short segments and selects segments required for the collation of feature points from them, and for example, dots forming a pair within the threshold or the like are selected.

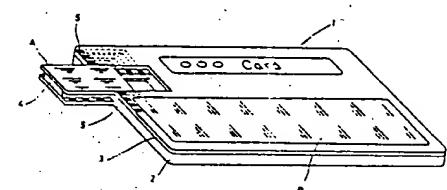


2: image sensor, 3: memory, 5: collating part, 6: dictionary, 7: preprocessing binarizing, 8: discrimination, a: discrimination

(54) CARD-SHAPED RECORDING MEDIUM
 (11) 62-194591 (A) (43) 27.8.1987 (19) JP
 (21) Appl. No. 61-35032 (22) 21.2.1986
 (71) CANON INC (72) KIYONOBU ENDO(1)
 (51) Int. Cl. G06K19/00, B41M5/26, B42D15/02, G11B7/24

PURPOSE: To obtain a multipurpose information recording medium used in accordance with a purpose by providing plural information recording areas different in characteristic and combining information recording areas which have characteristics according with various functions.

CONSTITUTION: A card-shaped recording medium which has an IC memory part of 64k-bit information capacity and an optical memory part of about 2M-byte information capacity and measures about 54mm x 85.4mm is produced and is used as a credit card. A name, a password number, an account number, the term of validity, etc., are recorded in the IC memory part, and the details of shopping are recorded in the optical memory part. The name, the password number, etc., require high security, and it is necessary that identification and confirmation of the reliability of the card are performed in a short time by them. Details of shopping require a large capacity in preference to security and quickness because its data volume is large. The card-shaped recording medium of this invention satisfies sufficiently these requirements.

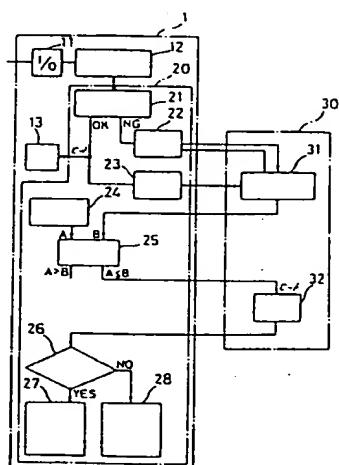


1: card-shaped recording medium, 2: base body, 3: laminate layer, 4: IC memory, 5: electrode, A,B: information recording area

(54) IC CARD
 (11) 62-194592 (A) (43) 27.8.1987 (19) JP
 (21) Appl. No. 61-37746 (22) 21.2.1986
 (71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) KENICHI TAKAHIRA
 (51) Int. Cl. G06K19/00, B42D15/02

PURPOSE: To detect the wrong use of a stolen card or the like by counting the number of times of discord and storing the counted value in a non-volatile programmable memory of the card and setting the protection mode if this value exceeds a prescribed value.

CONSTITUTION: An inputted password number is inputted to an operation processing part 20 through an I/O 11 and a data buffer 12, and it is discriminated by a validity discrimination processing means 21 whether the password number is valid or not. If the password number is invalid, the contents of a collation register 31 are incremented, and the incremented value is recorded in the register 31. If the password number is valid, the contents of the register 31 are set to an initial value. In case of collation, the contents B of the register 31 are read and compared with a preliminarily set prescribed value A. When the contents B of the register 31 are larger than said value A, a control flag 32 is set, and this setting is detected by a discrimination processing means 26, and the IC card is switched to the lock mode and set to an unusable state.



13: collation flag, 22: increment, 23: reset, 24: set value, 25: comparison, 26: is set the control flag?, 27: protect mode processing, 28: normal processing

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭62-194592

⑫ Int. Cl.

G 06 K 19/00
B 42 D 15/02

識別記号

厅内整理番号

P-6711-5B
7008-2C

⑬ 公開 昭和62年(1987)8月27日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 I C カード

⑮ 特願 昭61-37746

⑯ 出願 昭61(1986)2月21日

⑰ 発明者 高比良賢一 伊丹市瑞原4丁目1番地 三菱電機株式会社北伊丹製作所内

⑱ 出願人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑲ 代理人 弁理士 早瀬憲一

明細書

1. 発明の名称

I C カード

2. 特許請求の範囲

(1) マイクロプロセッサ及び不揮発性プログラマブルメモリを有し、外部より入力されるデータの正当性を判定する手段を備えた I C カードにおいて、

上記判定手段にて不当と判定された回数を計数し、該計数値を上記不揮発性プログラマブルメモリの所定領域に記憶せしめる計数手段と、

上記判定手段にて正当と判定されたとき上記不揮発性プログラマブルメモリに記憶された計数値をリセットするリセット手段と、

上記計数値が予め設定した値以上になったとき該カードの処理モードを保護モードとする保護手段とを備えたことを特徴とする I C カード。

(2) 上記不揮発性プログラマブルメモリは EEPROM であることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の I C カード。

① 上記不揮発性プログラマブルメモリは CMOS RAM 及びバックアップ用バッテリよりなるものであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の I C カード。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、種々の複合化された機能をもつ I C カードに関するものである。

(従来の技術)

最近、マイクロコンピュータやメモリ等を内蔵した I C カードが提案され、普及しつつある。特に該カードに内蔵されるメモリとしては、その半導体製造技術、設計技術の進歩により、書き換える可能な電気的消去可能な読み出し専用メモリ (EEPROM) や、低消費電力のスタチック RAM (SRAM) が開発され、このようなメモリが一般に使用されるようになり、その機能は非常に高度なものになる可能性を含んでいる。

ここで I C カードの大きな特徴の1つとして、マイクロコンピュータを使用し、各種の演算を行

わせることにより、記録しているデータの保護、偽造の検出、不正使用の防止等をより高度に行いうるセキュリティシステムを構築することが可能となるという点が挙げられる。

このようなシステムの例としては、例えば外部装置より伝送されたデータを、ICカード内部で予め定められた手順により、その正当性を照合、確認する照合システムがある。具体的には、従来の磁気カードシステムにおいて行っていた外部装置でのカード所持者の暗証番号の照合を、ICカード内で行おうとするものである。即ち、予め暗証番号をICカード内に記録しておき、その暗証番号をもとにICカード内で外部から入力される暗証番号の照合を行い、その照合結果のみを外部装置に通知するものであり、これによれば、暗証番号をICカードから外部装置に伝送する必要がないため、他人が暗証番号を知ることが困難となって高い安全性が保証される。

(発明が解決しようとする問題点)

しかるに、上記のようなICカードを用いた照

合システムにおいても、ICカード内に照合機能のみを持たせたのでは不十分であると考えられる。即ち、紛失又は盗難されたカードを使用しての悪用が考えられるからである。

本発明は、かかる点に鑑みてなされたもので、盗難等によるカードの悪用に対しても、高い安全性を保証することのできるICカードを導くことを目的とする。

ところで、盗難等によりICカードが悪用される状況を考えてみると、通常不当取得者は暗証番号を知らないので、使用に際し繰り返して暗証番号を入力すると考えられる。そしてそのうち偶然に照合が一致して悪用される訳であるが、上記照合が一致する前に、即ち繰り返して暗証番号を入力しているときに、その入力回数を計数しておけば正当保持者の使用か、又は不当取得者の使用かを判定することができると思われる。

(問題点を解決するための手段)

そこでこの発明に係るICカードは、暗証番号等の外部から入力されるデータの正当性を判定す

る手段を有するものにおいて、上記判定結果が不正と判定された回数を計数しこれをEEPROM等の不揮発性プログラマブルメモリに記憶せしめる計数手段と、正當と判定された場合上記計数値をリセットするリセット手段と、上記計数値が所定値以上になったとき該カードの処理モードを保護モードとする処理手段とを設けたものである。

(作用)

この発明においては、ICカード内において連続した不照合回数をモニタし、しかもその不照合回数を不揮発性メモリ等に記憶し、該回数が所定値以上になったときカードの処理モードを保護モードとする。これにより1台の外部装置のみならず、複数の外部装置を使用しての照合においてもカードの悪用が防止される。また一旦照合が確認されると、不照合回数の計数値をリセットするから、正當保持者の押し間違い等による不照合によってカードが使用不能となることはない。

(実施例)

以下、本発明の実施例を図について説明する。

図は、本発明の一実施例によるICカードの機能ブロックを示す図であり、図において、1はマイクロプロセッサであり、このマイクロプロセッサ1において、11は入出力インターフェース、12はデータバッファ、13はこのマイクロプロセッサ1内のRAMレジスタ内に設定した照合フラグ、20は演算処理部である。またこの図では、上記演算処理部20についても機能ブロックで表わしており、21は入力情報の正当性判定処理、22はインクリメント処理、23はリセット処理、24は設定値、25は比較処理、26はコントロールフラグのセットを検知する判定処理、27はプロテクトモード処理、28は通常処理である。

また、30はEEPROM又はCMOSRAM及びバックアップ用バッテリより構成された不揮発性プログラマブルメモリであり、31は該メモリ30上の特定の位置に設定された照合レジスタ、32は同様に上記メモリ30上の別の特定位置に設定されたコントロールフラグ設定領域である。

次に動作について説明する。

外部装置から入力された暗証番号は、1/01 1及びデータバッファ1/2を介して演算処理部20に入力される。この演算処理部20では、正当性判定処理21で入力データの正当性が判定され、その結果不正と判定された場合は照合レジスタ31の内部をインクリメントし(処理22)、この値を照合レジスタ31に記録する。一方正と判定された場合は、上記照合レジスタ31の内容を初期値にセットし(リセット処理23)、これとともに該マイクロプロセッサ1内のRAM上の照合フラグをセットする(処理13)。この照合フラグは、以後ICカードの各機能において必要な場合、その内容が確認されるものである。

またこの照合に際しては、上記照合レジスタ31の内容Bが読み出され、これと予め設定された所定の値A(設定値24)とが比較される(処理25)。そして照合レジスタ31の内容が上記設定値より大きい場合(A < B)、コントロールフラグ32がセットされ、これが判定処理26で検知され、これによりICカードはロックされたモ

ード、即ちプロテクトモードに移行して使用不能状態となる(処理27)。コントロールフラグがセットされていないときは通常の処理モードで各種の処理が行われる(処理28)。

このような本実施例では、盗難等により不正にカードを取得した者がカードを使用しようとしても、暗証番号を知らない限り該カードを使用することはできず、カードの悪用を防止することができる。特に、本実施例ではカード内に不照合回数を記憶するので、複数の外部装置を使用し、照合を試みて應用しようとしても、それを防止することができる。また正当保持者が暗証番号のインパートミスをすること等により不照合となつても、一旦照合が確認されると不照合の計数値をリセットするので、正当保持者がカードを使用できなくなるということはない。

〔発明の効果〕

以上のように、本発明に係るICカードによれば、カード使用時の照合に際し、不照合回数を計数して該計数値をカード内の不揮発性プログラム

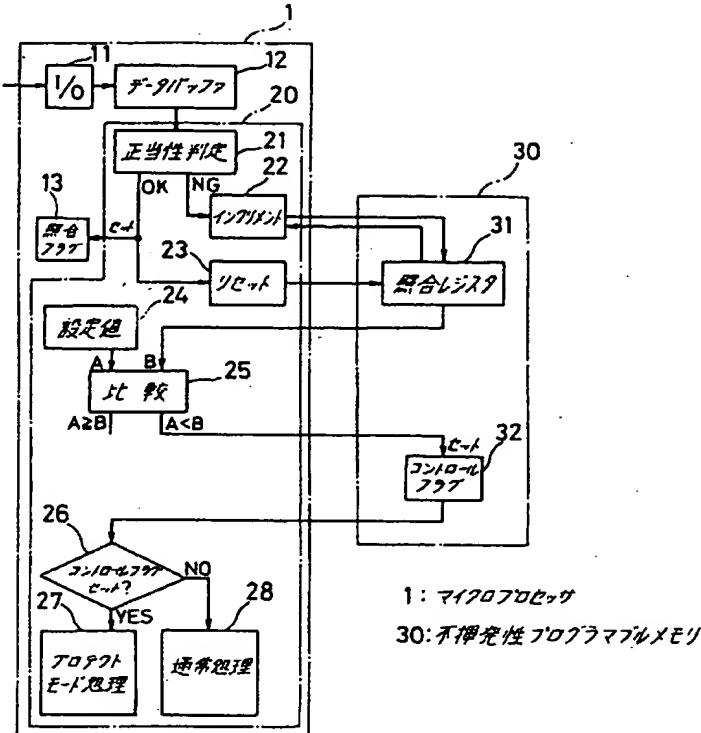
ブルメモリに記憶し、この値が所定値以上になればカードの処理モードが保護モードとなるようにしたので、カードの盗難等による悪用がより効果的に検出され、カードシステムのセキュリティを向上できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例によるICカードの機能ブロックを示す図である。

1…マイクロコプロセッサ、20…演算処理部、30…不揮発性プログラマブルメモリ、31…照合レジスタ、32…コントロールフラグ。

代理人 早瀬一



手 続 準 正 書 (自発)

昭和 62 年 5 月 15 日

特許庁長官殿

1. 事件の表示 特願昭 61-37746号

2. 発明の名称 I C カード

3. 振正をする者

事件との関係 特許出願人
 住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
 名 称 (601) 三菱電機株式会社

4. 代 理 人
 住 所 郵便番号 532
 大阪市淀川区宮原4丁目1番45号
 新大阪八千代ビル
 氏 名 (8181) 弁理士 早瀬 恵一
 電話 06-391-4128



5. 振正の対象

明細書の特許請求の範囲の欄、発明の詳細な説明の欄、及び図面

6. 振正の内容

- (1) 明細書の特許請求の範囲を別紙の通り訂正する。
- (2) 明細書第5頁第6行～第7行及び第9頁第2行の「保護モード」を「プロテクトモード」に訂正する。
- (3) 同第7頁第18行の「より大きい場合 (A < B)」を「以上の場合 (A ≈ B)」に訂正する。
- (4) 同第8頁第14行の「一旦」を「一旦許された回数以内で」に訂正する。
- (5) 図面を別紙の通り訂正する。

以 上

2. 特許請求の範囲

項記載の I C カード。

(1) マイクロプロセッサ及び不揮発性プログラマブルメモリを有し、外部より入力されるデータの正当性を判定する手段を備えた I C カードにおいて、

上記判定手段にて不当と判定された回数を計数し、該計数値を上記不揮発性プログラマブルメモリの所定領域に記憶せしめる計数手段と、

上記判定手段にて正当と判定されたとき上記不揮発性プログラマブルメモリに記憶された計数値をリセットするリセット手段と、

上記計数値が予め設定した値以上になったとき該カードの処理モードをプロテクトモードとする保護手段とを備えたことを特徴とする I C カード。

(2) 上記不揮発性プログラマブルメモリは EEPROM であることを特徴とする特許請求の範囲
第1項記載の I C カード。

(3) 上記不揮発性プログラマブルメモリは CMOS RAM 及びバックアップ用バッテリよりなるものであることを特徴とする特許請求の範囲第1

